

事務局だより 11月・12月 年末年始特大号



太田武美さんと5年生のお友達

年の瀬の慌しさを感じるようになりました今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。このお便りを、お正月にまったりしながらお読みいただいているかもしれませんね。日頃のお仕事大変お疲れ様です。お忙しい中、いつもご協力頂き、誠にありがとうございました。

平成最後の年の暮れが行こうとし、そして新しい年号を待つ新春を迎えようとしています。遠く扉が開いて光が射しているような、例年と少し違った清々しさを覚えるこの師走です。

私ごとで恐縮ですが、平成30年年頭のお便りに、引いたおみくじに「あきらめなさい」とあった話題を書きました。この一年、体が付いて来ず、確かにあきらめ上手になった一方で、「じゃあ何がしたい?」。頭の上の方から、次なる声が聞こえて来たのです。「かっこよく年をとりたい」・・・だいぶザックリしていますが、全部受け入れた結果の、これが新しい目標です。そして幸いなことに、周りに若々しい先輩方が大勢いらっしゃるのです。これは見習うしかない!「何を食べたらそんなに元気なの?」「すごく物知りだけど、どんな本を読んでいるの?」興味津々、尽きる事はありません。あの人、この人の背中を追って・・・なんだか楽しくなって来ますね。2019年、顔を上げて、前を向いて行きましょう 😊

* * * * *

早速、元気な話題です

コミュニティ オーバー60's グラウンドゴルフ大会



1 1月18日(日)午前9時から轟小校庭に於いて、コミュニティ校区内の60歳以上の方々・総勢119名(19チーム)のご参加によるグラウンドゴルフ大会が行われました。雨の予報も心配されましたが、プレー中は降雨もなく、そしてケガもなく賑やかな3時間となりました。事務的には少々おぼつかないところがあり、ご不便をおかけしました。スコアカードの改善や採点時間待ちの工夫など課題も見えましたが次回はもっと良くなっているはずです。ご協力頂いたスタッフの皆さん、どうもありがとうございました。晴れの受賞者は以下のとおりです。おめでとうございます!

団体1位 下岩屋三区Aチーム(福田徹キャプテン) スコア 40.8

2位 下岩屋一区Cチーム(太田節男キャプテン) 42.6

3位 下岩屋二区Aチーム(島義孝キャプテン) 44.0



個人賞は次頁です

コミュニティ **オーバー60'sグラウンドゴルフ大会** 個人賞 (30点台)

- 1位 宮崎数江様 (下岩屋一区B) スコア32
- 2位 高月ミヨ子様 (下岩屋一区C) 33
- 3位 島 義孝様 (下岩屋二区A) 34同点
- 3位 庄山 祝様 (下岩屋三区B) 34同点
- 5位 井上香百合様 (上岩屋区B) 35
- 6位 村上ヤス工様 (下岩屋三区A) 36
- 7位 前田鈴子様 (下岩屋三区A) 37
- 8位 高月忠雄様 (上不動区A) 39同点
- 8位 田中俊之様 (下不動区A) 39同点
- 8位 中山政典様 (下岩屋二区A) 39同点



ホールインワン (複数回達成)

- 1位 井上香百合様 (上岩屋区B) 3回
- 2位 高月ミヨ子様 (下岩屋一区C) 2回同点
- 2位 宮崎数江様 (下岩屋一区B) 2回同点
- 2位 島 義孝様 (下岩屋二区A) 2回同点
- 2位 庄山 祝様 (下岩屋二区A) 2回同点



ご参加の皆様、お疲れ様でした
 また来年のご出場を楽しみにしています



この日は市内の学校で文化祭や発表が行われました。取材は大野原だけになりましたが、轟小でも授業参観やPTAバザーがあり、おいしいカレーライスが販売されました。大野原小中学校PTAのメニューは鶏飯おにぎり・豚汁、どちらのPTAの皆さんもご準備お疲れ様でした。

大野原小中学校の役者の充実は圧巻、上の写真は劇中「およげ！たいやきくん」の合唱をする教頭先生と低学年の子供達です。下は、英語のフランキー先生へのインタビュー壁新聞です。紙面上このサイズでしか載せられず残念ですが、良く構成されていました。小学生に教える事が難しいそうです。4歳で釣りやゲームに目覚め、14歳で料理を始めたとのこと。多彩な特技で日本の暮らしにも溶け込んでくれて、嬉しく、頼もしいですね。

Interview with Frankie

We interviewed Frankie in the English class. Do you know about him well?
Please read it and be his friends more!

Frankie goes to restaurants plays games and walks with teachers and his friends on his days. And he plays games with his friends around the world. And he enjoys walking alone.

I think Frankie enjoys Ureshino.

Ryuto

He became an ALT. Because he likes Japan and he wanted to come to Japan. He says that it is difficult to teach English at elementary school. He likes to teach new things that is his motivation. He must be a Japan lover.

Erina

Frankie's hobbies are cooking, fishing and playing games. because He likes eating. It's fun and he can eat fish so he likes fishing. And it's fun and he can study Japanese. He started cooking when he was 14 years old, fishing when he was 4 years old and playing games when he was 4 years old. I want to eat fish dishes he makes.

Haruto

Frankie came to Japan last August. Actually He came to Japan three years ago at once. He's troubled a lot about how to separate the trash. He thinks the system in Ureshino is strict. Especially he says it's hard to use plastic bottles to the public hall. When he ate Japanese stew for the first time in his friend's house, his friend said "this is Okinawa-ya." Frankie heard it "Yakimono no ya" he was surprised because he thought it was "new of me".

Seitaro

なお、この文化祭に展示された、大野原中学校1年生5名による、嬉野町の歴史を歩いて調べた壁新聞は、第2回佐賀県児童生徒ふるさと学習コンクール（ICT利活用教育の一環）に於いて優秀賞に輝き、12月15日（土）佐賀市文化会館大ホールでプレゼン発表・表彰を受けられました。おめでとうございます。市内からは他に塩田小学校や塩田工業高校も受賞し、若々しくとても立派なプレゼンを披露してくれました。

* * * * *

轟小5年生親子行事のお手伝い

しめ縄づくり

12月2日（日）



昨年に続き、上岩屋区の大
山佐吉さんと湯野田区の青木
保さんにメイン指導者をお願い
いし、轟小体育館でしめ縄作
りをしました。初めに流れを
説明し、あとは進捗状況を見
ながら、取り残される人が出
ないようにしてポイントごと
に説明をしてくれたため、大
変わかりやすかったと好評で
した。また、コミュニティで声
をかけさせて頂いた方のナイ
スアシストもあって、昨年よ
りもスムーズに作業が進みま
した。大山さんは親子三世代
男子が一堂に会することとな
り、「こっち（佐吉さんと息子
さん）の親子行事になったば
い」と家族で照れ笑いされて
いました。健康で素晴らしい
事です。

子供達も大人の顔をだいぶ
覚えてくれ、部品配りを仕切
ってくれたり、とても助かり
ました。お家でも自らお手伝
いしているのでしょうか。お正
月、あちこちの玄関先が手作
りのしめ縄で飾られるのが楽
しみです。



ご参加頂いた、一ノ瀬紀美さん・松永容子さん・吉川昭勝さん・山口正文さん・山口公平さん・山口秀臣さん・
太田武美さん ありがとうございます。 太田嘉和さん（青少年育成部会長）・末永会長 お疲れ様でした。

不動ふれあいまつり 12月2日(日) 不動ふれあい体育館



12月2日の午後は不動ふれあいまつりにお邪魔しました。午前中の不動地区住民の皆さんのグラウンドゴルフから始まり、女性の皆さんのだご汁の振る舞い、迫力満点の餅つきと振る舞い、ポン菓子、芸能部門では舞踊部の日舞、9歳で民謡を見事に歌い上げるゆずちゃんの出演、地元バンド・嬉野ベンチャーズの演奏、不動地区産の新鮮野菜の品評会・表彰式・即売会も行われました。不動地区民の方のご寄付で成り立つおまつりで、毎年とても盛大です。巨大大根、おでんにしておいしく頂きました。写真にない野菜や農産物もいっぱいでした。皆さんありがとうございました。



十一月二十八日
(水)
夜7時〜8時半
↓
コミュニティ多目的会議室にて、健康福祉部の出前講座「健康体操と脳トレ」を開催しました。初の出前講座依頼でしたが、日本レクリエーション協会講師の古賀安子先生の底抜けに明るく、気取らないご指導に参加者全員、完全に持つていかれました。笑って歌って叩いて伸ばして。あつと言う間の時間でした。また開催してね」と多くの方が希望されて帰宅の途につかれました。白川部会長の発案大成功でした



終わりに

*

家事をしながらニュースに目をやれば、23日に85歳を迎えられた天皇陛下がお言葉を述べられています。「平成が戦争のない時代として終わろうとしていることに、心から安堵しています」という文言が深く印象に残り、作業の手が止まりました。本当にそうだ、と改めて思いました。戦争がない。偶然ではなく、努力を継続しての平和であることに気付かされた言葉でした。しっかりされているうちに譲位される陛下だからこそ、後世に大切なことを引き継ぎたいと、このお言葉を口にされたのではないかと思います。

私は湯野田に来た頃から、大先輩の（戦中戦後を過ごされた）方々に仲良くして頂く機会が多く、大変恵まれております。皆さんとても懐が深く、穏やかに周囲に気を配っておられると常々感じていました。大変な時代を知っているからこそ、というのがその所以のひとつだと思っていますが、そんな過酷な時代の経験を持たずとも、周囲に対する思いやり・気配りは身に付けていたいものだと、最近の醜い報復応酬のニュースを見聞きする度に感じ、自省しているところです。

*

さて今年も多くの方々に助けて頂き、おかげ様で12ヶ月を過ごす事ができました。本当にどうもありがとうございました。一年を振り返り、地区コミュニティとは？ いまだに端的に回答できませんが、不安そうに電話をかけてきてくれたり、玄関をそお〜っと開けて入って来られた方が、知らない人と喋って笑って、最終的に元気になって帰って行くという感じの場所でもあり・・・最近では雑談の中から「音楽をしたいんだけど」「山のそば屋をやったら良いと思うんだけど」「運動会、次はこうしたら？」というヒントをもらうこともあります。これらをいかに的確に部会・人に振り分けて理解してもらい、解決へ近付けるお手伝いをするか、というのがコミュニティかと思っています。基本はとにかく、楽しく！です。これまでのお力添えに感謝いたしますとともに、新年もどうぞ変わらぬご指導をお願いいたします。（大事な誌面を使わせて頂きました）今回編集しきれなかった話題も追って掲載してまいります。

最後になりましたが、来る年も、皆様にとって明るく輝かしい一年でありますことを、心よりお祈り申し上げます。

